

# PDCAチェックシート

実施年度	令和5年度	事務事業名	地域公共交通事業	担当課名	地域創生課		
【Plan】計画		【Do】実施・実行		【Check】点検・評価			
<p>■目的</p> <p>令和3年3月に策定した、本市の地域公共交通の「マスタープラン」となる「東かがわ市地域公共交通計画」に基づき、関係機関と連携しながら地域公共交通の進展に努める。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】 ○市内全域でのタクシーチケット型実証実験及びその評価を行う。 東かがわ市地域公共交通計画に基づき、各種施策の実施に努める。</p> <p>【達成値(R5実績値)】 ○市内全域でのタクシーチケット型実証実験を行い、事業の制度化につなげた。 公共交通利用促進のため、モーダルミックス事業の制度化につなげた。 路線バスの持続可能な運行のため、既存制度の見直しと新たな補助事業の制度化につなげた。</p>		<p>■具体的取組</p> <p>東かがわ市地域公共交通計画に基づき次のとおり実施した。</p> <p>①75歳以上の自動車運転免許非保有者を対象としたタクシーチケット型の実証実験を市内全域で実施。 ②「ターゲットを絞ったモビリティ・マネジメントの実施」として、大川バスと協働で市内の小学校にてバスの乗り方教室を開催。 ③公共交通の利用促進に関する施策をJR、大川バスと検討し、モーダルミックス事業の立ち上げに向けた取組みを実施。 ④地域公共交通活性化協議会を開催。 ⑤路線バスの適切な支援に向けた検討。</p> <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>事業費等</p> <p>○地域公共交通活性化協議会 報酬(2回) 44千円 需用費(食糧費) 4千円</p> <p>○タクシーチケット型実証実験 委託料 6,871千円 需用費 271千円 役務費(通信運搬費) 1,521千円</p> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>実施回数等</p> <p>①タクシーチケット型実証実験 1回 申請者数=1,959人、利用者数=1,255人 利用枚数=9,055枚 ②モビリティ・マネジメント 3回 ③モーダルミックス事業検討会 3回 ④地域公共交通活性化協議会 2回</p>		<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>これまでの実証実験を踏まえ、移動に不便を感じやすい75歳以上の自動車運転免許非保有者を対象に、市内全域でタクシーチケット型の実証実験を実施した。実証実験では対象者の需要量とタクシー事業者の供給力の把握、事業者と市の双方の事務負担等の観点から円滑な事業実施が可能か否かについても検証を行った。実証実験の結果、事業者・行政双方の事務負担は大きかったものの、タクシー事業者の供給力・利用者の需要量にも大きな問題は見られなかった。</p> <p>公共交通の利用促進を図るため、モーダルミックス事業について、市とJR、大川バスの3者で実施方法等について検討を行った。その結果、令和6年度からJRの通学定期券保有者を対象に、路線バスの併走区間のバス運賃を支援するモーダルミックス推進事業の導入につなげた。</p> <p>路線バスの持続可能な運行を支援するため、既存の支援方法の見直しと、新たな支援方法の導入について関係機関と検討を行った。その結果、令和6年度から福祉バス制度の支援方法の変更と路線バスの運行経費の一部を補填する地域間幹線系統等確保維持費補助金制度の導入につなげた。</p> <p>実証実験の結果やモーダルミックス事業、路線バスへの補助制度について、市地域公共交通活性化協議会に諮り、制度化につなげた。</p>		<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>令和6年度からわくわくおでかけタクシーチケット事業とモーダルミックス推進事業、地域間幹線系統等確保維持費補助金が創設され、運用が開始される。</p> <p>タクシーチケット事業については、課題である事務負担の軽減について、改善案を検討するとともに、デジタル化への対応なども引き続き検証していく。</p> <p>モーダルミックス推進事業については、利用状況等の動向を把握し、関係者間で共有するとともに検討を継続していく。</p> <p>地域間幹線系統等確保維持費補助金については、財源確保に向けて特別交付税の活用や、国庫補助制度への申請に向けた手続きを行う。</p>	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。